

平成24年度行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	廃棄物処理施設における水銀等排出状況調査		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～23年度		担当課室	廃棄物対策課		廃棄物対策課長 山本昌宏		
会計区分	一般会計		上位政策	4-3一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国連環境計画(UNEP)は、2001年より地球規模での水銀汚染に関連する活動(UNEP水銀プログラム)を開始し、2005年からは鉛及びカドミウムも対象に加えて活動(UNEP重金属プログラム)を行っており、第25回UNEP管理理事会(21年2月)において、水銀の排出抑制や輸入品の規制をするための条約を2013年の調印を目指すことで合意しちるところ。また、国内での廃棄物処理施設における水銀・鉛・カドミウム排出状況を調査・整理し、我が国がリードするUNEP廃棄物管理分野での議論に資するものとする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)最終処分場における水銀・鉛・カドミウムの排出状況等の調査 (2)全国の廃棄物処理施設における水銀の監視・測定状況の調査							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	8	8	17			
		繰越し等	0	0	0			
		計	0	0	0			
	執行額	8	8	17				
	執行率(%)	2	7	8				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	一般廃棄物処理に伴う水銀の環境中への排出量が目標として考えられるが、毎年度排出インベントリを作成・調査する手法がない。		成果実績					
			達成度					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	水銀含有廃棄物のリサイクル取り組み状況(リサイクル量や取り組み自治体数)が考えられるが、これまでのデータがなく、今回取り組むものである。		活動実績(当初見込み)				( )	( )
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	最終処分場における水銀・鉛・カドミウムの排出状況等や全国の廃棄物処理施設における水銀の監視・測定状況の調査を行うことにより廃棄物処理施設の安全性を確保するもの。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。 また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	水銀添加廃製品の回収ルートや、中間処理施設でのモニタリング等、当初の事業目的を達成した。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成23年度は、2者入札の結果、落札率47%で請負先を決定した。 平成23年度は、水銀添加廃製品の回収ルートや、中間処理施設でのモニタリング等、当初の事業目的を達成した。 これらの成果を今後の条約制定等に活用していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当該事業については、平成23年度で廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成23年度実績を記入

環境省  
8百万円

調査内容の検討



【一般競争入札】

A. (株)東和テクノロジー  
8百万円

水銀等排出状況調

調査票発送・回収  
サンプリング・分析  
データ整理

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(株)東和テクノロジー			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査業務	3			
外注費	試料採取、測定	4			
その他	旅費、謝金、印刷製本費等	1			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東和テクノロジー	廃棄物処理施設における水銀等排出状況調査	8	2	47%